



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

自由提案のポイント

- ▶ 第 2 次入間市博物館基本計画を踏まえ、効果的に博物館活性化を図ります。
- ▶ 自由提案として、敷地内看板の更新と全館 LED 交換に関する提案をします。

1 博物館活性化のための取組み

第 2 次博物館基本計画の課題へ指定管理者としてできることでアプローチします

【第 2 次入間市博物館基本計画に対する当グループの姿勢・考え方】

- ・入間市博物館基本計画は、これからの貴市に求められる博物館を創っていくための新たな運営指針として平成 29 年に第 1 次計画(平成 30 年度～令和 2 年度)が策定されました。
- ・現在の第 2 次計画(令和 3 年度～令和 8 年度)は、第 1 次計画の成果と課題を分析し、これからの運営の新たな指針として策定されたものです。
- ・第 2 次計画には、平成 30 年度から導入された指定管理者制度を受け、指定管理者に期待する役割についても記載されており、ALIT を運営していくうえで指定管理者の果たす役割の重要性にも言及しています。
- ・当グループは、同計画の中で期待されている指定管理者の役割を果たし、ALIT の課題解決に寄与していくことが重要な使命であると考え、ノウハウとネットワークを活かした取組みを推進します。



第 2 次入間市博物館基本計画

【第 2 次入間市博物館基本計画で掲げられる課題に対するアプローチ】

- ・当グループは、第 2 次入間市博物館基本計画の 12 の項目で掲げられるそれぞれの課題に対して、「指定管理者としてできること」「指定管理者としてやるべきこと」に取り組み、貴市とともに課題解決と ALIT の活性化に邁進します。

① 「資料の収集保存・調査研究」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
学芸員の専門性の向上に加えて、次世代に知識と経験を引き継ぐための人材育成が課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学芸員との業務の棲み分けを明確にするとともに効果的な連携を図り、学芸員がその専門性を活かした業務に専念できるようにする。 ○近隣学校の職業体験を受入れ、学芸員業務の魅力伝える。 	22 頁 (3)④交流・連帯
資料の収蔵スペースが少なくなっている	<ul style="list-style-type: none"> ○倉庫等の整理整頓をサポート(現在も実施)。 	

申請者

いるまミュージアムパートナーズ



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

② 「展示」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
内容的にも開館以降の調査研究成果が十分に反映されていないことから、容易に展示替えができる構造へのリニューアルが課題	○展示替えのタイミングで、SNS や YouTube 等でアピールしたり、展示替えに合わせたイベントを開催。	64 頁 (6)①広報・誘客
自然科学分野の企画や優れた芸術文化に触れる展示等が近年では予算の問題から開催が難しくなっている	○指定管理者として企画展・イベントを開催(現指定管理期間でも開催)。	27 頁 (5)④自主事業

③ 「教育普及」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
学芸員数が減少する中、受講生のニーズに応えられるような質の高い講座の継続と、博物館全体の事業運営のバランスを取ることも課題	○学芸員と指定管理者が協働した講座を実施(受講生のニーズを踏まえながら講座を共同または分担して開催)。 ○ALIT お茶大学の共催(継続)。	47 頁 (4)⑥市との 連絡調整
ICT を活用し、インターネット等の様々な媒体によっても、調査研究成果を公開発表していくことも必要	○YouTubeチャンネルやデジタルサイネージを活用して誰もが分かりやすい内容で公開発表。	64 頁 (6)①広報・誘客
毎週日曜日に地元農家とレストランが農産物の朝市を開催しているが、他は単発的なイベントの実施にとどまっている	○キッチンカーの誘致やワークショップの定期的な開催。	25-28 頁 (5)④自主事業
感染リスクを避けた形での事業実施や、ICT機器を活用したオンラインでの教育普及の活動を並行して進めていく必要	○YouTube チャンネルを活用した教育普及活動を提案(学芸員と連携)	64 頁 (6)①広報・誘客

④ 「教育機関との連携」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
感染リスクを避けての事業実施や、博物館から学校への出前授業、GIGA スクール構想に対応してICT機器を活用したオンラインでの教育普及への対応を並行して進めていく必要	○教育委員会と連携し、指定管理者 YouTubeチャンネルの活用を検討。	22 頁 (3)④交流・連帯
学芸員と展示解説員等のスタッフが連携を密にするとともに、時代の変化に対応できるように研修を重ねていく必要	○指定管理者の博物館ネットワークの活用。	23 頁 (3)④交流・連帯

申請者

いるまミュージアムパートナーズ



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

⑤ 「情報発信」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
今後も指定管理者と連携して、よりタイムリーで効果的な情報発信ができるようにしていく必要	○現状の広報媒体の効果測定を行い、より効果的な広報手段を選択・実行。	61-62 ㊦ (6)①広報・誘客
来館者アンケートなどでは、まだまだ広報が足りていないという指摘があり、知りたい情報が、知りたい人へ届いていないのが課題	○SNS、YouTubeなどICTを活用した効果的な広報の実施。	63-66 ㊦ (6)①広報・誘客
「入間市のことなら博物館へ行けば何でも分かる」という「地域の総合博物館」としての側面を強く打ち出していく必要	○「入間市検定の創設」「クイズラリー」など入間市のことを学べる事業やイベントを実施。	28 ㊦ (5)④自主事業
入間市の自然や歴史・文化財等、地域の潜在的な観光資源を、わかりやすく噛み砕いて情報発信することで、市外から訪れる人にとっての「入間市のビジターセンター」としての役割を果たしていく必要	○YouTubeチャンネルでの紹介、クイズラリーの実施、紙芝居、漫画などによる情報発信。	64 ㊦ (6)①広報・誘客

⑥ 「生涯学習と協働事業」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
市民の主体的な調査研究活動が博物館を拠点として行われ、地域の課題解決や学術文化の発展強化に活かされていく恒常的な仕組みが求められている	○公募展の開催など、市民の調査研究活動等の発表機会を提供。	27 ㊦ (3)⑤自主事業
市民との協働や、ボランティアとの連携の強化	○SNS等を通してボランティア会の活動をPR。 ○狭山市立博物館ボランティアとの情報交換、交流機会の提供。	22-23 ㊦ (3)④交流・連帯

⑦ 「市民文化活動の支援」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
平成30年度より指定管理者の業務となり、博物館への来館者数を増やすための誘客を目的とした自主事業も行うようになったことから、博物館の ALIT お茶大学講座主催事業や、公民館等の事業による使用と合わせ、一般に貸出しできる期間が限定されていることが課題	○茶室など稼働率の低い諸室やエントランスや市民広場、2階テラスなどのオープンスペースを活用した事業の実施。	25-28 ㊦ (5)④自主事業

⑧ 「多様な利用者へのアプローチ」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
福祉関係団体をはじめ、観光や商工業関係団体、レストラン・ミュージアムショップとの連携の強化を含めて、今後も継続して事業を実施	○多様な団体との連携を促進。 ○ミュージアムショップは、観光協会や地域団体と連携しながら地域性を打ち出した運営を行う。	21-23 ㊦ (3)④交流・連帯 29-30 ㊦ (3)⑤自主事業

申請者

いるまミュージアムパートナーズ



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

⑨ 「文化財の保護活用」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
令和3年度から設置した「入間市文化財保存活用基金」を周知し、多くの方に賛同を得て、基金を充実させていくことが今後の課題	○SNSやイベントチラシ等で基金について周知を図る。	63-64 頁 (6)①広報・誘客

⑩ 「施設の維持管理」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
空調設備や屋上の防水設備を中心に経年劣化による障害が多発しており、緊急的な修繕により対応	○現状の施設・設備の状況と修繕履歴を踏まえた効果的な修繕計画の策定・実行。	59-60 頁 (5)①維持管理
建物全体に係る劣化については、引き続き博物館・公共施設マネジメント推進課・指定管理者との連携により修繕費用の計画的な予算化が必要		

⑪ 「来館者等の推移」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館(約5か月)、事業の中止や規模の縮小、市民の外出自粛傾向もあり、来館者数は大幅な減少	○徹底した感染症対策と新しい生活様式に沿った密にならない事業・アウトドアでの事業を企画。	51 頁 (4)⑦緊急時対応 26 頁 (3)⑤自主事業
来館者の興味関心を喚起するものが何なのか、特別展の企画にあたり分析し来館者の増加を図る	○来館者アンケートやイベント参加者へのアンケートを行い、ニーズを収集。	18 頁 (3)②サービス向上
館庭の活用や、レストラン、ミュージアムショップとの連携は、来館者の増加を図っていく上では極めて重要	○レストランとの相互誘客の取組み推進、賑わいを創り出すミュージアムショップの運営。	21 頁 (3)④交流・連携 29-30 頁 (3)⑤自主事業
高校生や大学生、幼児を含む子育て世代の利用が少ない。指定管理者自主事業で幼児と保護者向けの教室を開催することで少しずつ新しい層の誘客に努めているが、今後においても、より多くの市民に博物館を利用・活用してもらえる事業や仕組みづくりを検討していく必要	○学び・文化・健康・遊び・工作など幅広いジャンルの事業の企画・実施。	25-28 頁 (5)④自主事業
新型コロナウイルス感染症対策として、ICTを活用し、いつでもどこでも博物館の持つ情報を提供することが求められている	○YouTube チャンネルや SNS による情報発信。 ○バーチャル茶室によるPR。	64 頁 (6)①広報・誘客

⑫ 「職員体制」における課題へのアプローチ

課題	指定管理者としてのアプローチ	関連頁
入間市博物館の継続的な質の高い事業運営のためには、計画的な人材の確保と養成が最重要課題	○職業体験やインターンシップの受け入れ。	22 頁 (3)④交流・連携

申請者

いるまミュージアムパートナーズ



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

2 SDGsに配慮した取組み

これからもSDGsを実践する施設として取り組みます

【入間市博物館基本計画におけるSDGsの取組の推進】

- ・第2次入間市博物館基本計画は「SDGs」の17のゴールのうち「4 質の高い教育をみんなに」と「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の2つの目標の実現を目指した計画として策定されています。
- ・SDGsは、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標であり、当グループもこの趣旨を理解して、ALITにおいて指定管理者としてできることに取り組みます。



学びのきっかけとなる事業の実施

【具体的な取組み① 質の高い教育をみんなに】

- ・指定管理者として学びにつながるきっかけや興味関心の喚起につながる取組みをカジュアルな事業やイベントを通して推進します(25～28頁参照)。

【具体的な取組み② パートナーシップで目標を達成しよう】

- ・「市×指定管理者×地域団体×多様な団体」がパートナーとしてお互いの長所・専門性を活かした連携を図ることで、自分たちだけではできないことができるようになり、それが課題解決や博物館の活性化につながると考えます。
- ・当グループは、貴市をはじめとした多様な人・団体との連携を推進し、ALITの来館者目標 80,000人と基本計画の目指す姿「市民の心のよりどころとなる博物館」をともに目指します(3頁参照)。

【具体的な取組み③ 環境に配慮した取組み】

- ・当グループは貴市のより良い環境を実現するための指針となる『第二次入間市環境基本計画』を理解し、温室効果ガス排出量の削減や循環型社会の形成等環境負荷低減につながる取組み、省エネ活動を推進することで、SDGsの目標である「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「12 つくる責任つかう責任」「13 気候変動に具体的な対策を」の達成に寄与します。



(1) エコチューニング事業者としての省エネの実践

- ・構成企業は、温室効果ガス排出量削減のため環境省が取り組む「エコチューニングモデル実践事業」に平成26年度から参画し、自社ビルや受託管理ビル等での「エコチューニング実践」の経験を活かし、認定登録事業者としてエコチューニング事業を展開しています。
- ・このエコチューニングは、エネルギー使用状況を分析し、設備機器・システムの適切な運用改善による温室効果ガス排出削減を行う事業です。
- ・ALITにおいても、エコチューニング事業者のノウハウを活かした省エネルギー活動を進めております。



エコチューニング事業者認定証

申請者	いるまミュージアムパートナーズ
-----	-----------------



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

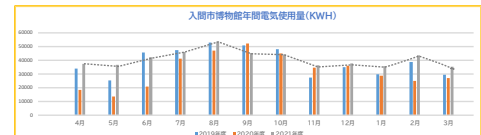
(2)ALITにおける省エネ活動

- 当グループでは、無駄なエネルギー消費を抑えるため基礎データとして、電気ガス水道の使用量を毎日検針しています。また毎月集計し、過去の同月の使用量と比較・分析のうえ、貴市との月例定例会議で報告・検討し、省エネ活動に役立てております。
- 電気の使用量削減の取り組みとしては、新たな設備機器を導入するのではなく、**空調機でのエリア別の夏・冬設定温度調整、外灯点灯の時間短縮**などがあります。また、**空調機の外気取り込み量の調整することで熱効率を高め、稼働時間を短縮**しています。
- ガスの使用量削減に対しては、**吸収式冷温水発生機の運転時間を短縮し、余熱を利用した使用量の圧縮**等で、省エネを促進し、限りある資源を有効活用しています。

入間市博物館・電気・ガス・水道・使用量

博物館電気 (kwh)			博物館ガス (m ³)			博物館水道 (m ³)			館内水道 (m ³)			
2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	
4月	17,320	33,430	31,590	422	57	155	51	100	102	42	57	90
5月	23,665	38,064	28,729	55	395	37	41	136	105	27	61	62
6月	33,377	43,213	34,422	960	1,038	892	136	195	172	74	71	60
7月	41,823	49,769	43,747	1,337	1,939	1,968	169	230	240	123	50	53
合計	116,285	164,495	138,488	2,794	3,440	3,052	397	681	619	268	239	265
2021年度比			2021年度比			2021年度比			2021年度比			
差異 ▲28,007			差異 ▲397			差異 ▲62			差異 26			
増減率 -15.5%			増減率 -11.5%			増減率 -9.1%			増減率 10.8%			

毎月の電気・ガス・水道使用量集計表



電気使用量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	17,320	23,665	33,377	41,823	49,769	34,422	28,729	31,590	33,430	38,064	23,665	17,320	414,335
2021年度	18,500	18,633	20,861	41,126	47,154	52,063	44,982	34,510	35,994	28,888	24,934	16,985	389,713
2022年度	37,457	36,630	42,114	45,961	53,409	45,294	44,266	36,375	37,869	35,683	43,511	35,354	493,921

平均気温	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
2019年度	12.4	18.8	20.9	23.3	27.3	23.5	18.4	11.6	6.9	5.7	6.3	9.2	15.4
2020年度	11.5	18.0	22.0	23.0	26.0	22.0	16.0	12.0	6.0	3.0	6.0	10.0	15.0
2021年度	13.0	18.0	21.0	24.0	26.0	21.0	16.0	11.0	6.0	3.0	3.0	9.0	14.7

※分析結果
2022年度に邦出して2021年度は104,208kWhの使用量増加、2019年度に比べて今年度は29,086kWhの電圧となった。今年度は2020年度よりさらに省エネ効果が高く、電力消費量は増加し、2019年度に比べて今年度は29,086kWhの電圧となった。そのため、増加している。これまでも通り、環境配慮を促している。2021年度の省エネが今後参考になると考えられる。2022年度も新型コロナウイルス対策・文化財保護・省エネ活動を並行して実施してまいります。

年度報告書における「電気使用量の分析」



デジタル指示調節計による温度管理
【電気使用量圧縮】



冷温水発生機運転時間短縮
【ガス使用量圧縮】

(3)アルカリイオン電解水(ISO9001)

- 構成企業では**アルカリイオン電解水を自社で生成**しており、**品質マネジメントシステム ISO9001 認証取得**、環境保全に取り組んでいます。
- アルカリイオン電解水は一般的な洗剤と異なり界面活性剤、科学合成物質を使用していないため、水と同じで環境に負担が掛かりません。また、**殺菌効果**もあるため、施設の清潔感・衛生面の向上に加え、インフルエンザ・ノロウイルス、また**新型コロナウイルスの感染症の予防**にもつながることから、ALIT においてもアルカリイオン電解水を導入し、**環境に配慮した清掃業務**を行っております。



アルカリイオン電解水の使用例

(4)利用者への環境配慮の周知啓蒙

- 当グループでは ALIT を環境に優しい施設としてあり続けることを使命と考え、利用者にもご協力いただきながら、よりよい環境づくりに取り組んでおります。
- 利用者が不便を感じない程度の節水・節電等、廃棄物抑制といった環境配慮の活動にご協力いただけるように呼びかけ**を行っております。利用者にもご協力いただくことにより、**環境配慮に対する意識の啓蒙**にもつなげています。



利用者への環境配慮協力要請
【廃棄物抑制】

申請者	いるまミュージアムパートナーズ
-----	-----------------



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

3 自由提案

ALITのイメージアップと将来的な経費削減を見据えた提案をします

【施設内案内看板更新の提案】

- ・ALIT敷地内の看板は、老朽化などにより案内機能を著しく損なっているものが散見されます。
- ・施設の存在をアピールするため、また施設のイメージを向上させるために現状の案内看板の課題を踏まえ、**次期指定期間5年間で計画的に修繕・設置**をしていきます。



ALIT敷地内案内看板の現状・課題 ※番号は上図内番号に該当	
01 正門ヨコ植え込み…文字表面塗装がひび割れており、劣化が激しい。	08 南門…もともと特に表示なし(敷地内の別棟茶室利用の時以外あまり使われない)。
02 正門…正門(黒大理石地部分)に何の表示もない。小さな掲示物をいくつも貼り付けていて、「正門感」がない。開催中の催事を、伝わりやすく表示できるようにしたい。	09 東門…バスで来館の場合はこの門から入るが、「入口感」に乏しい。フェンスに掲示があるが、劣化が激しく統一感もない。
03 正門入って右(自販機横)…敷地内地図看板があるが、劣化しており表示内容も薄い。	10 東門入って正面…木製の立て看板劣化が激しい。2022年8月現在、シルバー人材センターが修繕しているが木製のため耐用年数が短い。
04 本館前植え込み(スロープ途中)…劣化が著しく、判読不能。	11 東門入って右手…敷地内地図看板があるが、劣化および枝木が覆いかぶさっており目に入りにくい。表示内容も不足。
05 本館…入口に向かって左の壁面に小さく文字があるのみ。遠目で見ても、何を開催しているのかわかりにくい。催事時に木製の立て看板(紙貼り付け)を柱に紐でくくりつけている現状。	12 バス停付近…バスを降りてから博物館本館までのアプローチがわかりにくい
06 西門…もともと特に表示なし。一煎の表示や貼りが雑然と掲示してある。	13 東門入ってから、本館エントランスまでの案内看板…調整池以降のルートがわかりにくい。
07 休館日のみ設置するバリケード…使用時以外(開館日)はパイロンとバーを近く(地形模型や銅像の後ろなど)に置いて景観を損ねている。	14 敷地内各所…植え込み等の「蜂注意」「ペット禁」「自転車乗り入れ禁」劣化が顕著。
その他…館パンフレットや掲示している地図などに「正門」「東門」「南門」「西門」と印刷されているが、各門そのものに表示が無いため、利用者にとってわかりにくい。	

申請者	いるまミュージアムパートナーズ
-----	-----------------



(7) 自由提案

民間活力やICTを活かした、利用の促進や効率的な運営を実現できる新たな提案

【LED 化の提案】

- ・昨今の電気料金高騰の状況を鑑み、将来的な電気代削減を見据えた**全館 LED 交換の試算**をアイリスオーヤマ株式会社に依頼しました。
- ・試算結果は以下のとおりですが、**LED 交換による電気代削減率は約 80%で、8 年と少しで LED 交換に要する費用を回収できる見込み**となっています。
- ・実際にはより詳細な試算によって回収時期を見込むことになるため、あくまでも参考提案として提示します。
- ・LED 交換によって**施設全体が明るくなり雰囲気良くなります**。また、単純に電気代が削減できるだけでなく、**管球等消耗品や管球交換に要する作業費も削減**されるため、長期的視点でいずれかのタイミングで交換することが望ましいと考えます。

※場合によっては、部分的な交換にも対応可能と考えます。

■ LED 交換に係る費用(見積) ※全館交換の場合

33,000 千円(電球交換、各種器具交換、足場設置費用、高所作業費等含)

■ LED 交換による削減効果(試算) ※全館交換の場合

現状LED照明とご提案LED照明の比較 <明細>

物件名: **人間市博物館**

電力単価 **22 円/kWh**

No	エリア	現状照明						LED照明								
		器具台数(台)	ランプ高(本)	高灯種別(日/夜)	消費電力(W/器具)	年間消費電力量(kWh/年)	年間電気代(千円/年)	器具台数	高灯種別(日/夜)	消費電力(W/器具)	年間消費電力量(kWh/年)	年間電気代(千円/年)	削減額	削減率		
		合計						合計								
		232,004						47,226						1,039	-4,065	79.6%
C426	展示準備室 (3)	3	3	280	10	42	353	7.8	3	280	10	21	176	3.9	-3.9	50.0%
W150	常設展示室 (1)	1	1	280	10	42	118	2.6	1	280	10	26	73	1.6	-1.0	37.6%
E234	常設展示室 (1)	3	3	280	10	150	1,260	27.7	3	280	10	12	98	2.2	-25.6	92.2%
E234	常設展示室 (1)	1	1	280	10		0	0.0	1	280	10	0	0	0.0	0.0	
	ホール	36	36	280	5	180	9,072	199.6	36	280	5	15	756	16.6	-183.0	91.7%
	廊外	30	30	280	1	100	840	18.5	30	280	1					
	廊外	30	30	280	1		0	0.0	30	280	1					

※このコストシミュレーションは想定使用環境をもとに概算で算出したものであり、削減率及び削減額を保証するものではありません。

LED 交換による試算表 (目安)

- ・削減率: 79.6%
- ・年間削減額(年間電気代 5,104 千円とした場合の見込): 4,065 千円

■ 回収にかかる期間(目安) ※全館交換の場合

・33,000 千円 / 4,065 千円 ÷ 8.1 年